

南砺市福野西部公民館

◆事業の目的

現代の子どもたちは余りにも忙しすぎて、自然にふれあう・実際に泥に触る・地域の大人たちと触れ合う機会が少ないので、子どもたちが大きくなった時に自分たちの故郷の思い出づくりと心豊かな地域づくりを目指すことを目的とします。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月28日(土)	ミニ行燈づくり	布袋地内	40名
6月4日(土)	親子で花を植える	布袋地内	30名
10月15日(土)	さつま芋掘り体験	布袋地内	50名
12月26日(月)	門松、ミニ門松、しめ縄づくり、餅つき大会	西部公民館	80名

◆事業の様子

☆ ミニ行燈づくり

西部地区恒例の田祭り行燈の製作と同時に、子ども達のミニ行燈を福野の干場先生指導のもとに親子で作ります。子ども達は事前に、行燈に書く図柄を持参して真剣に書き、色付けをし、のりづけして完成です。



☆ 親子で花を植える

お花を植える時は、優しく、配色も考えて植えましょうネ。水やりもしましょう。親子で環境づくりの大変良い機会でした。



☆ さつま芋掘り体験

ショベルで掘り出したさつま芋が大変大きくて、子ども達の歓声があふれていました。大きな袋2つも持って歩けないヨ！お母さん助けて・・・天候が定まらず、バーベキューは中止になり、代わりに食生活改善推進員の作った大学ポテトをおいしく頂きました。



☆ 門松、ミニ門松、しめ縄づくり、餅つき大会

ミニ門松作りの後、寿会の皆さんの門松作りを見学し、餅つき体験もし、園児、小学生、寿会、ボランティアとたくさんの方とのふれ合いをし、3色の餅と、豚汁を頂いてお正月を迎える準備が出来ました。



◆事業の成果と課題

この事業を通じて三世代交流が充分に行われました。しかし保育園も24年3月で廃園となり、園児とのふれ合いが出来なくなり、地区の大きな課題です。

